

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
発達障害作業療法治療学		必修	2	3	前期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡辺 俊太郎	C318	shuntaro.watanabe	金曜日 13:00~14:00		
授業の目的・概要	発達障害の特性を知り、発達作業療法評価学演習で学んだ知識に基づいた治療の構造を理解する事を目的とする。以下の内容の習得を目指す。①発達障害領域の作業療法の役割と作業療法を実践する上での必要な知識、視点について理解する。②疾患ごとの評価・治療の全体像を知り、最終的に対象児の特性に合わせた治療プログラムを列挙できることを身につける。授業内容は前半で各疾患の復習から治療方法について学び、後半は演習を行う中で発達領域の評価から治療の知識を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> デイカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	発達作業療法評価学演習で学んだ疾患の特徴と評価について理解している事を踏まえて疾患ごとの評価・統合・治療について説明を行う。事前に教科書(脳性まひ、ASD、ADHD、SLD 等)を復習して授業に臨むこと。				
教科書	イラストでわかる発達障害の作業療法 監修：上杉雅之 / 医歯薬出版株式会社 / 2017 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 作業療法評価学 監修：矢谷令子 / 医学書院 / 2017 教科書2冊 必要に応じてプリント配布				
参考書	特になし				
外部教材	「ヒトの心はどのように生まれ、進化してきたか? 東京大学 長谷川寿一 東大TV」 を授業開始前に視聴すること。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	脳性まひ・神経発達症群の障害特性について理解し説明できる。			HSU(2)、OT(1)、(2)	
②	脳性まひ(痙直型、アテトーゼ型)の評価と支援について理解し説明できる。			HSU(2)、OT(2)	
③	神経発達障害群(ASD,ADHD、SLD 等)の評価と支援について理解し説明できる。			HSU(2)、OT(2)	
④	事例(脳性まひ、神経発達症群)を通して、支援方法について意見をまとめて述べる事ができる。			HSU(2)、OT(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ASD に対する作業療法について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
2	ASD に対する作業療法について学ぶ<事例>	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
3	ADHD に対する作業療法について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
4	ADHD に対する作業療法について学ぶ<事例>	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
5	脳性まひ児(痙直型)に対する作業療法について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
6	重症心身障害に対する作業療法について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
7	脳性まひ児(アテトーゼ型)に対する作業療法について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
8	事例検討のオリエンテーション 疾患の特徴把握と作業療法評価の抽出を行う	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
9	事例検討：全体像のまとめ、問題点の抽出、目標設定	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
10	事例検討内容の解釈と統合	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
11	デュシャンヌ型筋ジストロフィー症に対する作業療法について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
12	SLD の治療に対する作業療法について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	
13	二分脊椎についての作業療法について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2	

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

14	小児リハビリテーションに関する支援制度について学ぶ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2
15	各疾患の特徴と症状の把握、評価、治療のまとめ	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。 事後はプリントを復習する。	2
試	筆記試験			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	5	45
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	5	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5

評価のポイント				フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。発達分野における代用的な疾患の特性把握、評価、解釈、支援について問う。得点を総合評価の70%に換算する。	試験問題および解答用紙の返却と解説
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業内で実施する事例検討への取組みの姿勢・意欲、思考・推論・創造する力、協調性・リーダーシップ、問題を発見・解説する力を評価する。	課題への取組みの中で、相互に議論しながら意見交換する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	作業療法士として15年以上の臨床経験
実践的授業の内容	臨床における最新情報と共にその専門性を生かして学生に教授する。また、事例を通して発達過程の視点、身体機能・認知機能の視点など様々な視点から対象児の評価から治療を考えていくことを説明する。
そ の 他	大学構内での授業に際して、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方針を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更の可能性がある。